

## G6閣僚会合、WTO非公式閣僚会合等の結果概要

平成18年2月  
農林水産省

### I. G6閣僚会合

1. 日時・場所:1月27日(金) 11:00~12:30

於:スイス・ダボス コンgress・ホテル

#### 2. 出席者:

我が国:中川農林水産大臣、二階経済産業大臣

米国:ポートマン通商代表、ジョハンス農務長官

EU:マンデルソン貿易委員、フィッシャー・ボエル農業委員

ブラジル:アモリン外務大臣

インド:ナート商工大臣

豪州:ヴェイル貿易大臣(議長)

ラミーWTO事務局長

#### 3. 結果概要:

- (1) 冒頭、ラミー事務局長から、香港閣僚会議の総括を述べた上で、今後、4月末のモダリティ確立、7月末の譲許表案提出といった期限に向けて、各国が努力していく必要性を強調した。
- (2) その後、各国出席者の間で、今後の交渉プロセスに関する議論を中心に、率直な意見交換が行われた。
- (3) 中川農林水産大臣からは、交渉全体のバランスが重要である旨発言した。

### II. スイス主催WTO非公式閣僚会合

1. 日時・場所:1月28日(土) 9:00~12:00

於:スイス・ダボス ホテル・ゼーホフ

#### 2. 参加国等:

我が国、米国、EU、豪州、インド、ブラジル、スイス(議長)、ノルウェー、韓国、ケニア、コスタリカ、香港、マレーシア等19か国の閣僚

ラミーWTO事務局長、各交渉会合議長

#### 3. 我が国からの出席者:

中川農林水産大臣、二階経済産業大臣  
木下農林水産審議官、村上大臣特別補佐官、  
北村通商政策局長、藤崎寿府代大使 ほか

#### 4. 結果概要:

- (1) 冒頭、ラミー事務局長から、香港閣僚宣言に基づく交渉分野ごとの今後の作業スケジュール(※)が示され、これを基に、今後の議論をどのように進めていくべきか等について、閣僚間で率直な意見交換が行われた。  
(※)基本的には、香港閣僚宣言において各交渉分野に関し合意された期日を整理したものであるが、農業、NAMAについては、特惠浸食に関するセミナーの開催が書き加えられているほかは、香港閣僚宣言から変わるところはない。
- (2) 中川農林水産大臣からは、農業、NAMAをはじめとする各分野間のバランスを取りつつ、全体として高い水準を目指すべきとの発言を行った。
- (3) 各国から香港閣僚会議について前向きな評価がなされ、今回提示された作業スケジュールに基づき、各国が2006年中の交渉終結という目標に向け、引き続き努力していくことで一致した。

#### (参考1) 中川農林水産大臣とジョハnz米農務長官との会談概要

1. 日時・場所:1月27日(金) 13:00~14:20 於:スイス・ダボス ホテル・ヴァルトゥース
2. 同席者:  
(先方)J. B. ペン農務省次官、タープストラ海外農業局長 ほか  
(当方)木下農林水産審議官、村上特別補佐官、吉村国際部長、榎本国際経済課長、大杉国際貿易機関室長、藤崎寿府代大使 ほか
3. 概要:
  - (1) 米国産牛肉の輸入問題に関し、ジョハnz長官から、遺憾の意を示した上で、再発防止のための徹底的な原因究明を行う旨発言があった。
  - (2) 中川大臣からは、米国側の説明を聴取した上で、徹底的な原因究明と万全の再発防止策を講ずることを改めて強く要請した。

#### (参考2) G10閣僚会合

1. 日時・場所:1月28日(土) 7:00~7:50 於:スイス・ダボス ホテル・ゼーホフ
2. 出席国等:我が国、スイス、ノルウェー、韓国
3. 我が国からの出席者:中川農林水産大臣  
木下農林水産審議官、村上大臣特別補佐官、吉村国際部長
4. 結果概要:
  - (1) 非公式閣僚会合における対応について、G10閣僚間で意見交換を行った。
  - (2) また、農業を中心に交渉の情勢分析を行うとともに、今後のG10としての協力のあり方等に関し、率直な議論を行った。

### (参考3)中川農林水産大臣とマンデルソンEU貿易委員との会談概要

1. 日時・場所:1月28日(土) 8:30~9:00 於:スイス・ダボス ホテル・マイヤホーフ
2. 同席者:  
(先方)トローヤン寿府代大使 ほか  
(当方)木下農林水産審議官、村上大臣特別補佐官、藤崎寿府代大使
3. 概要:  
農業をはじめとして、NAMA、サービスを含む交渉全体の現状や、日EU間の協力のあり方等について、意見交換を行った。

### (参考4)非公式高級事務レベル会合(SOM)

1. 日時・場所:1月30日(月)・31日(火) 於:スイス・ジュネーブ
2. 出席国等:我が国、米国、EU、ブラジル、インド、豪州、カナダ、マレーシア、エジプト、グリーン次期一般理議長(ノルウェー大使)
3. 我が国からの出席者:村上大臣特別補佐官、日下経済産業審議官、藤崎寿府代大使 ほか
4. 結果概要:  
(1)このSOMは、ブレインストーミングを目的とした非公式な意見交換を通じて、交渉グループにアドバイスを与えたり、分野横断的に見て交渉全体の推進に資することを目的とした会合。  
(2)今回は、初回として、今後の議論の進め方、この会合の交渉全体における役割、各分野の交渉グループで重点的に議論すべき事項、交渉の進め方等について、意見交換を行った。